

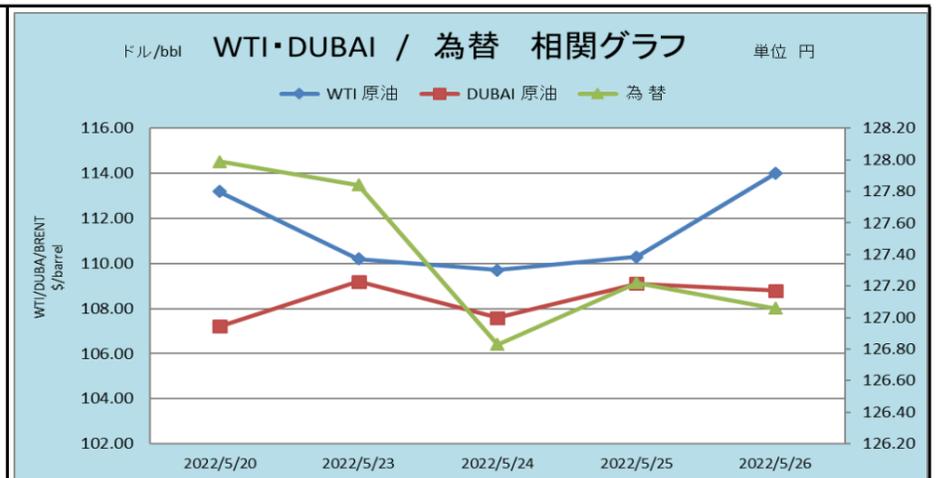
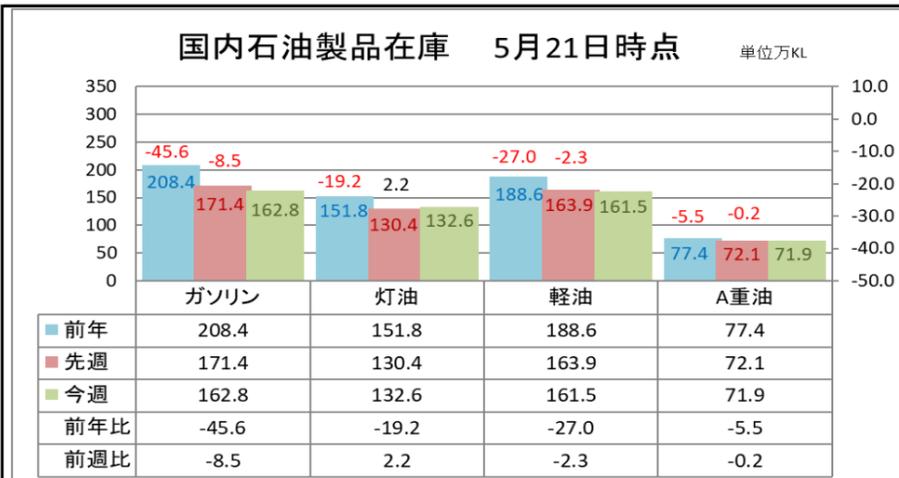
イデックスオイルレポート ~For a week~

2022/5/27作成 (株)新出光

【概況】<中国上海市ロックダウンの緩和~米国ガソリン需要拡大による需給逼迫予想>

●20日、中国・上海市のロックダウン(都市封鎖)が緩和の方向となっている状況のほか、欧州連合(EU)によるロシア産石油の輸入禁止に向けた動きが引き続き相場の支援要因となり相場は113.23ドルへ続伸しました。
 ●23日、高止まるインフレ対策として米連邦準備制度理事会(FRB)が積極的に利上げを行い、景気が悪化するとの懸念も根強く、一時売りが強まりましたが、米国で夏のドライブシーズンを控え、ガソリン需要拡大が見込まれており、引き続き需給要因が原油相場の支援材料として相場は110.29ドルで留まりました。
 ●24日、ドイツのハベック経済相は、欧州連合(EU)がロシア産石油の輸入禁止で数日以内に合意する可能性があるとの見方を表明しました。さらなる需給逼迫懸念が広がり相場を支えましたが、当日最終では109.77ドルへ小反落しました。
 ●25日、米エネルギー情報局(EIA)が午前発表した週間在庫統計によると、戦略石油備蓄(SPR)を除く原油の在庫は、前週比100万バレルの取り崩しとなり、取り崩し幅は市場予想(ロイター通信調べ)の70万バレルを上回りました。また、米国の夏のドライブシーズンの幕開けとなるメモリアルデーを控え、エネルギー需要期待が高まっており相場は110.33ドルへ小反発しました。
 ●26日、米国の原油やガソリンの在庫減少及び夏場のドライブシーズンを控え今後ガソリン需要が高まる見込みのため、原油及びガソリン需給逼迫に対する警戒感が強まり原油相場は114.09ドルへ続伸しました。

5月27日 17:00現在 WTI原油 114.15ドル 為替 1ドル 128.03円



	次回元売変動予測	
	6/2~	元売変動予測
ガソリン	➡	+3.6~+4.1
灯油	➡	+3.6~+4.1
軽油	➡	+3.6~+4.1
A重油	➡	+3.6~+4.1
LSA	➡	+3.6~+4.1

※原油コスト「0円~+0.5円」
 ※激変緩和補助金「-37.3円」
 ※現時点での予測です。

【製品卸価格】<販売枠消化業者が増え日毎に市況は改善の方向か>

《今週》今週の元売り仕切り改定は3社ともに原油コスト「+3.5円」、補助金「-37.3円」となり、実質「+2.3円」の値上げ改定となりました。資源エネルギー庁の公表する全国レギュラーガソリンの23日時点の小売価格平均は168.8円となっております。
 今週のマーケットの主役は、元売週間玉を持つ業者です。市況連動玉を持つ業者は月初から18日までにほぼ販売枠を消化しており今週は模様眺めの状況です。
 《5月28日以降》次回の元売り改定は、原油コスト「0~+0.5」のスライドか値上げの改定予測で、激変緩和補助金は「-37.3円」の見込みで、サウジ調整金+3.6円を含め「+3.6~+4.1円値上げ」の改定の予測となっています。26日以降は、枠を消化した業者が多くなり浮遊玉が少なくなっています。よって枠を消化した業者から徐々に市場から撤退し安値玉が払拭されるため日を追って市況は上昇してくるものと思われます。6月2日よりサウジ調整金が+3.6円加算され大幅な価格改定になるため月末月初は、仮需が発生しローリー手配が厳しくなる事が予想されます。

【次世代エネルギー】<炭化水素等を活用した二酸化炭素を排出しない水素製造技術開発>

荏原製作所は「炭化水素等を活用した二酸化炭素を排出しない水素製造技術開発/メタン活性化と炭素析出の反応場分離による水素製造」を、国立研究開発法人物質・材料研究機構(NIMS)・国立大学法人静岡大学・太陽鉱工株式会社と共同研究を開始しました。水素製造について従来からのメタンスチームリフォーミング(SRM)と呼ばれる伝統的な水素製造法(グレー水素)は、二酸化炭素を多く発生させるという課題があります。また、二酸化炭素の発生を伴わない水素製造方法である水の電気分解法(グリーン水素)はエネルギーを多く必要とするためコストが高くなるという課題があります。今回の開発は天然ガスやバイオガスなど、自然界に豊富に含まれるメタンガスを、触媒の存在下で加熱もしくはプラズマ照射によって固体炭素と水素(H₂)に分解することで水素ガスを得ます。「メタン熱分解」(ターコイズ水素)は、二酸化炭素を発生させず、水の電気分解より低コストで水素を製造できる技術として注目を浴びています。

[出典]

① <https://www.ipubb.com/press/3095189/>